

お手入れ・ランプ交換 (必ず電源を切ってから行ってください)



必ず守る

●ランプ・反射板（ルーバ）がほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

●お手入れなどでランプをはずす場合は、2ページ「取り付けかた」の逆の手順で行ってください。再度取り付ける場合は、「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。不備がありますと、落下してけが・ランプの破損の原因となります。



禁止

●みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけるしないでください。またランプ・器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。

●点灯中や消灯直後は、ランプが高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。



必ず守る

本器具は直管形LEDランプ専用です。ランプ交換の際は、下記日立製ランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、火災・感電・落下・器具の破損の原因となります。

適合LEDランプ	LDK110SS・N/36/45B
	LDK110SS・D/36/43B
	LDK110SS・W/36/43B

保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、点灯装置は3年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のとこに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。
- この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111

取扱説明書

日立LED照明器具

HITACHI
Inspire the Next

保管用

笠付形	[セット形式] PKE11108-JL24B	本体：PE11107-JL24B 反射板：PKER11108JLB
	[セット形式] PKE11208-JL24B	本体：PE11207-JL24B 反射板：PKER11208JLB

- 電源電圧は200～242Vまで対応
- 照度補正形

日本国内用

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。



警告

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい、確実に行う。※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しない。※火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。



注意

- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- ランプに物をぶつかけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。※ランプの破損によりけがの原因となります。
- 落としたランプは使用しない。※感電・落下によるけがの原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しない。※火災、感電、不点灯、絶縁不良の原因となります。
- 器具銘板またはラベルに記載されているランプ以外は使用しない。※不点灯やランプ短寿命の原因となります。

その他のご注意

- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしない。※保護機能が作動し不点灯の原因となります。

各部の名前

